

編集委員会から

J-STAGE のオープンアクセスと Creative Commons License

第 24 巻第 2 号の「編集委員会から」では、「即時オープンアクセスの潮流」として、欧州の Plan S と米国の科学技術政策局 OSTP の政策をご紹介しました。日本国内でも 6 月 9 日に閣議決定された「統合イノベーション戦略 2023」の中で「学術論文等のオープンアクセス化の推進」が求められるようになりました。（第 2 号の発行日は 6 月 15 日でしたが、印刷・製本のスケジュールのため、「編集委員会から」への情報追加は間に合いませんでした。）

現在、日本食品工学会誌の研究論文は冊子発行後となりますが、J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsfe/-char/ja/>) に、論文の書誌事項と PDF ファイルを公開させていただいております。第 24 巻第 2 号は「即時」には公開できなかったのですが、発行日翌日の 6 月 16 日に公開させていただきました。非会員の方にも無料で広く読んでいただけるようにオープンなアクセスにしているのですが、J-STAGE の基準では「オープンアクセス」とはみなされず、上記の雑誌トップページでは

[ジャーナル][査読][フリー][早期公開][Scopus]

と表示されています。「フリーアクセス」という判定です。J-STAGE は利用している学術雑誌にオープンアクセスでの即時公開を強く推奨しています。

J-STAGE の「オープンアクセス」では、出版物の二次利用を可能とすることを求めています。これには雑誌の発行機関（学会など）が著作権を保持する方法と保持しない方法があります。発行機関が著作権を保持する場合は論文に Creative Commons License (CC ライセンス) を表示することが J-STAGE から勧められています。CC ライセンスとは国際的な非営利組織であるクリエイティブ・コモンズが提供している著作権ルールであり、作品や論文を公開する作者・著者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツールです (<https://creativecommons.jp/licenses/>)。使用条件によって

表示 BY, 表示-継承 BY-SA, 表示-改変禁止 BY-ND, 表示-非営利 BY-NC,

表示-非営利-継承 BY-NC-SA, および表示-非営利-改変禁止 BY-NC-ND

の 6 種類の CC ライセンスがあります。たとえば、表示-非営利-継承 BY-NC-SA は、原作者のクレジット（氏名、作品タイトルなど）を表示し、かつ、非営利目的に限り、また、改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンスです（詳しくは上記のウェブページをご覧ください）。

その他にも J-STAGE のオープンアクセスの条件を満たすためには投稿規定などの見直しや整備が必要です。現在、編集委員会で準備中です。

読者・投稿者の皆様には当学会誌のオープンアクセス化へのご理解とご協力をお願いいたします。

（新潟大学 田中孝明）